

第5回新居浜市福祉のまちづくり推進懇話会議事録

日 時：平成23年1月25日（火） 13：30～15：00

場 所：市役所3F 応接会議室

出席者：明智 恭平、白石 文男、田中 真澄、小野 和子、河端 幸枝、
近藤日左臣、矢野 玲子、森田まゆみ、和田 卓巳、和田輝世伸、
遠藤 敦子

計 11名

（オブザーバー）ジェイエムシー株式会社 武内

（事務局）近藤 清孝、神野 洋行、岡 素子、曾我部 康志、
岡松 良二、高城 秀明、伊藤 微笑、横山 倫代

議事内容：

1. 開会

2. 議 事 内 容

（1）計画書案について

資料の「新居浜市地域福祉推進計画2011（案）」に基づき、説明を行った。また、第4回の懇話会で推進委員より出された「この計画の事業をやるにはどれだけの事業費がかかるのか」という質問について説明を行った。

→第五次長期総合計画に基づいた財政計画では、平成23年度から32年度までの新居浜市全体の実施計画の事業費は1,771億5千7百万円、そのうち一般財源は511億円と見込まれている。このうち、福祉関連予算としての一般財源は257億円と見込まれている。新居浜市全体の予算のおよそ50%が福祉関連予算で占められていることとなる。

計画案に対する各委員から意見は次のとおりである。

・現在の計画案は文章だけであるが、挿絵や写真があった方が読みやすく説明しやすいのではないかと。

→イラストについては工夫したい。

・12Pの「人」（人材づくり）について、「地域福祉を推進していくうえで、最も重要で最も難しいのが人材確保です。」とあるが、一番大切なことなのでもう少し書き加えた方がよいのではないかと。また、市民活動の推進等、様々な項目の中で説明されているが、こういう取り組みをしていきたいというようなことを書き加えた方がよいのではないかと。

→49Pの「地域を担う人材の育成」という部分が一番直接的に関わってくる箇所ではないかと思う。この中で取り組み方針としては地域づくりの担い手となる人材育成のために公民館を中心とした活動がある。この取り組みを重点的に進捗管理を行う事業に入れるかどうかについて検討したい。

・13Pの「金」（活動資金）のところで、活動を支援するための行政からの補助金について書かれてあるが、毎年公募補助金の申請をして毎年補助金をもらっているが、同じ事務を繰り返すことは煩わしい。認定補助金にしてもらえないか。

→認定補助金は一定の要件で決められている。補助金の申請制度については何年かに一度見直し作業を行うので、担当課へ今回いただいた意見を申し述べたい。

・52Pの心身障害者福祉センター大規模改修について、センターには現在2つ棟があるが、どちらも改修するのか。またこの二つの棟をドーム型につないで下は土足で通れるようにしていただきたい。

→本館と作業棟があるが、どちらも骨格はそのまま使い改修を行う予定である。改修の中身については、例えば、現在畳の部屋である集会室をフローリングにして間仕切りのできる部屋にするとか、リハビリ用のフロアを半分作るとか、利用者等の意見を聞きながら使いやすい施設にしたいと考えている。

・説明があった箇所や重要な箇所などを太字にすると見やすいのではないか。

→検討いたします。

(2) その他

今後の予定としては、計画書案について本日いただいたご意見を反映させ修正した後、委員長が代表して市長に対して報告書を提出していただく。2月の初旬には市議会の各党派へ計画案について説明を行う。また、2月14日から3月11日までパブリックコメントを実施する。これらの間の意見を受け、修正すべきところを修正した上で、3月に市長から福祉のまちづくり審議会に諮問し、答申を受ける予定である。

正式な計画が出来上がると今後は計画の評価をすることが大切になってくる。1年に1回は評価の審議を行う予定である。

(3) 福祉部長挨拶

本日、第二次新居浜市地域福祉推進計画案が取りまとめられたところであるが、地域福祉について考えることは、防災や防犯、教育、文化、スポーツ、都市基盤整備などまちづくり全般にかかわってくるものであり、また、広くは日本という国家全体、古くは歴史の流れをも考えなければならないものといえる。「血縁」「地縁」「社縁」が希薄になり、「無縁社会」とも言われる現代において求められているのは、市民が地域生活を送る上での生活課題に対する問題意識を共有し、その解決のために協働することではないかと思われる。平成23年度からスタートする第二次新居浜市地域福祉推進計画がそのための指針となることを期待するとともに、地域福祉に行政全体として、社会福祉協議会や民生児童委員など地域福祉を推進する機関や団体、個人と連携し取り組んでまいりたい。

委員の皆様方には、今後も引き続き格段のご協力をお願い申し上げまして、私のご挨拶とさせていただきます。昨年の6月から本日までの5回にわたりご審議いただきまして、誠にありがとうございました。

以 上